

新会長に古波藏保雄氏 指導体制の確立と不況脱出に重点を!!

村商工会第三回通常総会

設立後四年目に入る村商工会（小波津健会長会員数三百二十二名）では、五月十九日、午後二時半から村役場ホールで会員百三十五人を集め、第三回通常総会を開き、次の議事を審議した。

今回の議事は、昭和五十二年度事業報告並びに収支決算、昭和五十三年度事業計画並びに収支予算（案）、規約の一部実施、一時借入金最高限度額の決定などの五項目の承認の件であり全会一致で承認された。

その後、任期満了に伴なう役員改選が行なわれ、新会長に古波藏保雄さん（古藏商会社長）副会長に屋良朝光さん（屋良電気店経営者）、小橋川英吉さん（兼久給油所専務）が決まった。そのほか理

事十五人、監事二人、相談役七人が

決まり、今後二ヶ年間の活躍が期待される。

昭和五十二年度は、経営改善普及

事業の一環として巡回指導、窓口相

談、金融あっせん、記帳継続指導などを行ない経営向上に大きな成果

を上げた。一方、昨年十二月には、第一回歳末助け合いチャリティゴルフ大会を企画し、その収益金三〇万円を村社会福祉協議会に贈り喜ばれた。その他のチャリテ

イ活動などにも多数の会員が協力され、大きな貢献をした。今年もこのチャリティ運動は続ける方針である。昭和五十三年の事業計画の基本方針は、指導体制の確立と不況か

らの早期脱出を図ることである。今後、古波藏会長を中心斬新度事業が進められるわけであり、村商工会の発展が各方面から注目されている。

総合四位の成績から一挙に準優勝で行なわれ、内二部門で村代表が優勝に輝き、その他の部門でも良い成績をおさめ、総合準優勝に大いに貢献した。

これは、村の養豚業が盛んであることを示すものとして明るい話題となっています。

尚、優勝に輝いた二名の持主は未経産の部（八ヶ月）と野国昌敏（池田）で行なわれた。

△城間敏夫（我謝二四一）

△壮令雄の部

△城間敏夫（我謝二四一）

△野国昌敏（池田）

△壮令雄の部

</

